

楽しさは 美味しさの調味料

mil・meal

ミ ル ミ ー ル

2012年新春号

発行責任者 ミールケア編集室
発行所 株式会社ミールケア
〒380-0921 長野県長野市栗田8番地1
TEL.026-269-8800 FAX.026-269-8813
<http://www.mealcare.co.jp>
<http://www.mealma-ma.com>
連絡先 フリーダイヤル0120-088-348
E-mail : info@mealcare.co.jp

もりみやのはら

森宮野原

Morimiyanohara

(長野県)

よこ
Yok

ぎ



新春講演

ミールケアの人づくり

もう何年も取り組んでいる「人づくり」の研修、「組織と人の向上セミナー」DVDの映像で、私たちに様々な教えを講じてくださっているのが、大久保寛司さん。その本物に本日も越えたいと思いました。
大久保さんは、IBM時代から組織で働く中で輝くこと、仕事の極意を導いてくださる方です。全国のあらゆる企業から講演依頼があり、日本中を駆け巡っています。その中、ミールケアに来ていただきました。長年の夢がかなった日です。



「Don't judge!」
そして最後に「仕事力」を高めていくことを教えていただきました。
やるべき仕事を、内容を把握していく、言葉で、文章で、書くことで、力がつきます。これからの考えて考えて考え抜いていける仕事にしたいと思います。
年頭の誓いが「あきらめないでやり続けること、それがどこまで維持できるのか？」
また、仕事をしていくうえで、悩み、苦しみ、つらくなることもあります。
しかし、「何のために働くのか？ どうして？」と考えて考えて、考え抜くことが今の私たちに必要だと感じました。きっとそこからも大きな成長が得られると信じ、取り組んでいきます。
木の年輪を少しずつ広げていくように、私たちも人として、また会社を通して世に貢献し年輪を広げ成長していきたい、気持ち新たにした新年の誓いでした。

大久保寛司【おおくぼかんじ】

日本IBMで業務改革推進本部、CS担当後、お客様重視の仕組み作りと組織改革に専念。2000年4月に「人と経営研究所」設立、所長に就任。人と経営のあるべき姿を探求。全国の企業、団体より講演依頼が多くあり、日本中を駆け巡っている。
主要著書：「月曜日の朝からやるきになる働き方」かんき出版、「自分が変われば組織も変わる」かんき出版、ほか。



笑顔の力

昨年から研修を通して「思いやり」とは、また組織人として働くことの意義を学んできました。
リーダーとして、その人が醸し出す波動は強ければ強いほど、まわりにあたえる影響は大きい。私たちがリーダーである以上、明るく元気であることは活気づき、それがよい波動で伝わっていきます。
よい仕事環境はこのようなところから作られていきます。そしてそこから生まれるものが「表情力」。
自分がつくる笑顔の力がお客様をひきつけ、また会いにくてくれる、私たちにも「ありがとう」が返ってくる。しかしその笑顔を継続することはとても大変です。
継続する事を努力しなければ自分のものになりません。
大久保さんに教えていただいたこと、継続する努力をしなければならぬこと。
そして自分のものにしていきたいと思えます。



リーダーとして人を育てることはこれも難しいことです。人をのばす方法としてインツプ物語の「北風と太陽」の考え方があります。
人の心を開かせるため、冷たい風、力づくで心を開かせようとしてもかえって閉ざしてしま

褒める、人を育てる風土作り



また、人を認めるとき、自分の物差しで人を図るのはなく、相手のものさし、目線で考えること。
人は人のことを評価「judge」しないこと

褒める、人を育てる風土作り
「自分を認められたとき嬉しい」「自分を認められた人に素直についていくことしよう」
その風土づくりが大切であると思えます。



新年1月13日、長野市研修施設「ぐらばあてい」で、定例の長野事業部全体会議が行われました。新年の新たな誓いを後押ししてくれるかのように素晴らしい3人、大久保寛治さん、子息でヴァイオリニストの大久保貴寛さん、炭焼き職人原伸介さんの講演が行われました。



大久保貴寛(おおくぼたかひろ)
愛知県出身。3歳よりスズキメソッドにてヴァイオリンを始める。
現在は指導者とともに様々な分野とのコラボレーションにも意欲的に取り組んでいます。特に音による、場の調整を目指している。

共鳴

この「ぐらばあてい」の研修所にヴァイオリンの音色が響き、一つの楽器がプロの手によって美しく奏でられました。寛司さんの子息の貴寛さんです。「ヴァイオリンの弦は4本。ほかの弦でも同じ音を出すことができます。その時同時に弾くという音はしません。琴線に触れる、お互いがお互いの音をかき消すことなく響き合います。人も同じで、自分が響くことよって、相手も響かせることができます。人を変えることができなくても、自分が変わることで相手も変えられる。また、自分が変われないときは、素敵な響きを持った人の側にいるだけで素敵になれる。」
貴寛さんの優しいお人柄がよくわかる嬉しい話でした。
やはり自分が楽しく、明るく醸す表情や行動は人を変えることができる！と後押ししてくださいました。



原 伸介(はらしんすけ)
信州の山中で炭を焼きつつ「かっこいい大人が増えれば若者は夢を持てる」という持論のもと、職人・一次産業のかっこよさを若者に伝える活動に命を燃やす。また、2007年冬「人生初の引きこもり経験」を経て、2008年より前向きになれずに苦しむ老若男女を笑顔で抱きしめる活動を開始。

国ほめ

「炭焼き職人」原伸介さん。今日は飛び入りでしたが、嬉しい話をしてくれました。数日前にお会いした登山家の田部井さんから聞いた話でもとても感銘をうけた言葉を教えてくれました。それは「国ほめ」
昔、古代中央の役人が地方へ派遣されたとき、その地方のいいところを句にして残していたとのことでした。とかく、転勤はマイナスイメージがあるけれど、褒めるといふことで感心を持ったとのこと。
他にも「山ほめ」「苗ほめ」という神事があるそうです。今の自分があるのは、相手があつてのこと。

人と人のかかわりはほめることが大切であつて、好きでなければ褒められない。
お互いを思いやり、そして共に生きていくことが今年の思いかもしれないと思いました。
大久保さん、貴大さん、原さんとの素晴らしい出会いに、素晴らしい話をありがとうございました。
(記・田子美津子)



お客様インタビュー



ここは信州軽井沢。活火山で有名な浅間山に抱かれ、また日本で有数の避暑地でもあります。昨年施設を新しく建て替え、温かい木のぬくもりと、優しい施設の皆様が迎えてくれました。こちらの施設の食事を作り始めて早3年がたちました。とてもきれいな厨房の中、施設様と「共に歩む食事」を目指しております。

知的障がい者更生施設
浅間学園
施設長 土屋達夫様



知的障がい者更生施設 浅間学園
〒389-0111 北佐久郡軽井沢町長倉3725
電話：0267-45-5379

浅間学園様について

●園の特徴を教えてください。
浅間学園は昨年の春に改築工事が完成し、5月から使用を始めたばかりのびかびかの建物です。軽井沢らしく「おしゃれで楽しい暮らし」というイメージを意識しました。事業形態は「障がい者支援施設」として、施設入所、生活介護、ショートステイ、共同生活介護をおこなっています。そこで暮らす利用者さんは皆さん個性豊かで、伸び伸びと生活しています。



●園で大切にしていることは何ですか？

浅間学園の方針として、本人に寄り添う支援「PERSON CENTERED PLANNING」や「ユニット」を支援の柱としています。利用者さんの主体性を尊重し、スタッフは日常の生活支援や作業支援をすすめる上で、強制しない、本人が納得してやる気を出してくれるのを待つ、ということをお心掛けています。食事については単に食べる作業ではなく、生きるための義務でもなく、「楽しむもの」と思っています。食に限らず洋服も言葉づかいもすべて生活文化として大切にしたいです。

●行事等などの様子を教えてください。

浅間学園の最大のイベント「ごん太祭」を紹介いたします。祭りは、浅間学園を地域の人たちに知ってもらいたいとの思いで、1990年に始まりました。「ごん太」とは寮生の飼猫の名前からとりました。当初、60人程度だった来場者は回を重ねるごとに増え、ここ数年は数百人、多い年には800人ほどが訪れるようになりました。地元の子供太鼓、吹奏楽団など、多くの方々に参加いただき祭りを盛り上げられます。今年のみる劇団様にもご協力をいただき、大変盛り上がりました。利用者・スタ



管理栄養士の大矢先生と施設長の土屋達夫様

スタッフと一緒に企画から準備、当日の順番まで大変な気合いの入れようです。地域の方々にも大勢来場していただき、とてもにぎわいました。



歌あり、踊りあり、おいしい食べ物に飲み物もあり、最高にハッピーな一日をみんなで楽しんだのです。そのほか一年を通してたくさんの方が出てきます。やはり食ることが楽しみです。それが行事の中心ということになります。単調な施設の暮らしの中で皆さん楽しんでいて、頑張りを取り組みたいと思います。結局のところミールケア様の協力が頼りです。

●ミールケアに今後望むことが

日常の食事にしても、利用者対応にしろ、もちろんイベントへの協力も、とても細やかに「こんなにまでしていただいて

と驚くほどの対応で、本当に感謝しています。

利用者は食事が楽しみです。季節ごとの催事、喫茶、選択食と飽きさせない食事を考え、ミールケアの皆さんと共に実施していきたいと思っています。

また、わがままを言わせていただくならば、現在のスタッフの方には永遠に当施設にいていただきたい！！と臨みます。



1月9日に行われたもちつき大会
クリスマスに
寿司イベントを開催

しかし、今後当施設も高齢化や病気の進行など、食の問題は難しくなってくるものと思います。そんな中で生涯食事を楽しむことは重要な課題だと思っています。こうしたことへの提案をいただき、協力して取り組んでいけたらすばらしいと思います。

施設長への質問です

●好きな言葉は何ですか？

うーん、あまり考えたことはないけど、「何とかなるさ」という気持ちで人生歩んでいますけど…あまり物事に悲観的にならないようにしています。

土屋施設長はこんな人

スタッフより…話しやすい人・バイタリティーのある人・スポーツマンでカッコいい・頼れるリーダー(かなり型破りで頑固)山のような人(動かざること山のごとし)・スケールの大きい人・話が上手で聞き上手(一部から詐欺師と呼ばれている)・顔が広く活動的、人脈が広い(施設以外の活動も頑張っている)・若々しい利用者より…こわい・お父さんのよう



●施設長様が取り組んでいるボランティア活動についてご紹介ください。
私が関わっているのは「スベシャルオリンピックス」といい、知的障がい者にスポーツプログラムを提供する世界的な団体です。軽井沢にも地区プログラムがあって、浅間学園からは20名ほどが参加しています。夏季はテニス、ゴルフ、ボウリング、陸上、冬季はスキー、スケート、スノーシューイング、フロアホッケーと8種目を実施しており、それぞれ得意な種目を選んで取り組んでいます。
全国大会で選ばれると世界大会へも出場することができます。昨年の夏には軽井沢から1名がアテネで開かれた世界大会に出場し、銅メダルを獲得しました。過去には浅間学園からも世界大会に出場していて、長野大会に5名、アメリカ大会には1名が参加したんですよ。
(記・浅間学園様)



ミールケア感謝祭

より深い絆と思いやりを求めて！

昨年12月11日、創立21周年を迎えるにあたり、記念感謝祭がメトロポリタン長野にて行われました。チーフ以上200名程が集う大きな会になりました。実行委員長として、事業所を守り、毎日食事を欠かさず提供し続けてくれているスタッフたちにどうやったら感謝の心が伝わるのだろうか？と考えました。まず、1年間を振り返り、この1年自分は何をしてきたのだろう、何を残したのだろう、数々の研修から思いやりの気持ちや自分の成長を見つめ、実感してもらうことにしました。

午前中は間宮さんのファシリテーションで行われました。ここではグループディスカッションをしながら、人の話を聞き、お互いを労い、讃えあう場として素晴らしいものになりました。改めて沢山の「人も輝く、自分も輝く」であった一年と感じました。来年はどんな成長に出会えるのか？とても楽しみです。

また今回は半年かけて感動のエピソードを集め、発表会を行いました。心に残った感動体験や嬉しさを実感した話は、仲間として本心に心打つ内容でした。その結果は表示してありますが、静かな会場の中、チーフによる心のこもった発表になりました。何より素晴らしいことは「お客様、利用者様に喜んでほしい」という強い思いや、普段意識せず行っているひたむきで前向きな気持ちを感じた体験につながっているのだと改めて気づかされた時間でした。

また午後は、ビンゴ大会やみーる劇団の発表、クラウンなどたくさんの方のフォーラムで会場が一体となり明日への誓いも新たにしました。今回、準備から沢山のスタッフに協力を頂き、開催できた事、本当に感謝です。

この絆を、さらに強いものにして次へと進んで参ります。

(記・実行委員長 小林純一)



ずく出して、みんなの夢にLet Try! 130名の掛け声が会場に響き、22年目の誓いを共有した瞬間。



会社の松本さん、浅山さん。タキシードにきもの姿。花を添えてくれました。



社長を囲んで、熟年チーム。これからも導いて下さい、先輩!



ミールケアの明日を担う、期待のなかよし3人組?



よさこいソーラン。1か月以上かけて練習しました。会場も揺れました。どっこいしょ!



あれ? 間宮さんもクラウン参戦。なぜか似合っています。

平成23年を振り返る IN「間宮」研修

午前中に行われた全社会議では、間宮さんファシリテーションによる研修が行われました。

年表と共に振り返り、自分の成長、反省…心静かにスライドを見つめました。

その月に起きた出来事、社内の出来事、やはり3.11の大震災、また翌日の栄



村の震災。その時チーフだった野口チーフは当時を振り返り、備えの大切さ、食の大切さ、温かい食事、たくさん学びが多かったようです。また、おもてなし研修の開催、イベントの取り組み、走馬灯のように浮かんでいきます。「この1年、自分は何のくらい成長したのか?何を残してきたのだろうか?」グループディスカッションからお互いを認め合いました。心がじんわり温まる光景です。最後に間宮さんから言葉をいただきました。人にしてあげなさい…胸に刻み込みました。(記・田子美津子)



←おめでとう! 長山チーフ 子供が高熱! 今日の参加はピンチでした

→写真:左から 小林愛チーフ(安曇寮) 関友樹チーフ(若草幼稚園) 滝沢幸夫チーフ(浅間学園) 長山チーフ(小吹保育園) 小林富子チーフ(高社学園)

第1回ミールケア 感動大賞「結果発表」

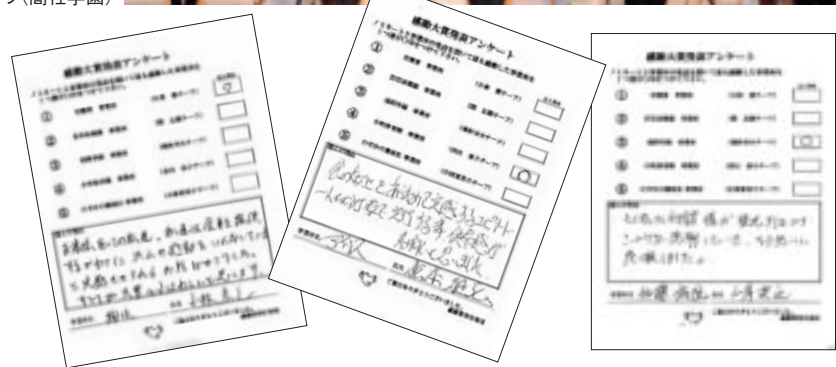
金賞 水戸市 小吹保育園 「東日本大震災から学んだこと」

銀賞 安曇野市 安曇寮 「生きることは食べること」

銅賞 中野市 高社学園 「利用者様との絆」

軽井沢町 浅間学園 「桜井さんからのメッセージ」

長野市 若草幼稚園 「食べられる喜び」



昨年6月から始まった「ミールケアおもてなしビジネスセミナー研修」一期生で優秀賞に輝いた幼保育園チームの傳田部長、広瀬マネジャー、浅山主任、社長と5名で、実践学習会へ行ってきました。場所は沖縄県、日本一長い朝礼を行う沖縄教育出版社。出版会社？何か本を販売している会社とイメージしましたが、沖縄ならではの健康食品や自然派化粧品等の通信販売の事業をしている会社です。以前出版会社を経営していましたが、川畑会長が体を壊し、「健康で生きることがたつ仕事をしたい」という願いから、現在の事業を行っていると事です。社員は約150名で8割は女性の会社です。

こちらは通販のリピーター率がほぼ100%と大変な人気です。でもなぜこれほどまでお客様に喜ばれているのか？いよいよ沖縄へ向かいます。

東京では「初雪」を観測した日1月19日、沖縄の気温は21℃と桜も咲くほどのぽかぽか陽気。教育出版社の朝は早く7時の清掃です。初日は掃除から参加しました。そこでトイレ掃除を経験させていただきました。他の会社は初めてでした。ミールケアでも掃除に力を入れておりますが、こちらは大変行き届いており気持ちの良いものでした。そして「なぜトイレ掃除をするか？」の紙を清掃後に渡され、「心を取り出して磨くわけにはいかなので、目の前の見えるところを磨く。特に人の嫌がるトイレをすると、心も美しくなる。人は、いつも見ているものに心も似てくる。」まさに人を育てる大切な原点を改めて学びました。

そして長い朝礼のはじまりです。若い2名

日本一の朝礼と人間尊重の経営 沖縄教育出版社へ研修参加。1月19日20日

ただいま、日本一長い朝礼中？



の女性司会者の「おはようございます。そしてようこそ！」と、絶妙な語りから始まり、参加している約100名のフロアは一瞬にして温かな心地よい空気となりました。天突き体操、ハッピー体操など一緒に「わっしょい！ハッピー！トリトリ！」と声をだして、同じ空気を共有してきました。自然と笑顔になりとても気持ちがよく、イキイキしている人のパワーに私も元気に体操をしていました。また沖縄教育出版社にはハンデをも持たれた方も多く働いています。そのひたむきな仕事ぶりは映像を通して存じておりましたが、実際お会いすると、温かさや一生懸命さが伝わってきます。



ミールケアスタッフと、中央 沖縄教育出版社の川畑会長

朝礼も分け隔てなく参加し、大きな拍手や挨拶をみんなの見本のように行っていました。当日も研修に参加した私たちに祝辞を述べて頂き、優しい気持ちに心から嬉しくなりました。これが日本一長い朝礼なのでしょう。気持ちのモチベーションを上げ、仲間との気持ちの交流、仕事への意欲、それぞれを確認するのように行われます。少しでもまねできるよう長野に持つて帰ります。



関東事業部の広瀬マネージャー



ミールケアの幼稚園、保育園の献立を一手にまとめる浅山栄養士

最終日は、「組織と人の向上セミナー」で実践学習会の振り返りの時間となりました。この実践学習会を通して一番感じあげたことは、仕事や職種は違っても、一人ひとりが、生き生きとし、喜びをもって働く事が一番大切な事。そして常に良い会社、良い職場にする為に「自ら本気で考え実行する」集団、会社でなければいけないということです。楽しさの裏にある厳しさを常に自分に向け、ミールケアにかかわる全ての人が幸せになる為の行動をしていきます。ミールケアの「給食道」を創るために、相手を認め、自分に謙虚に、感謝の心で、会社一の笑顔で事業所を積極的に回り良い会社の風土を創ります。そして習慣になるまで、やり続け本気の仕事で向き合っていきます。

今回は、貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。

(記・丸山副社長)



信州とは違い、沖縄の夕日は海の中へ...



冬でも



甘いトマトでいっぱい!

「みーる農園」
長野ベリーファームの岡田社長



みーるママでこのトマトを出したところ、お客様からお喜びの声が届きました。「ママのトマトは甘いね、どのトマト?」「このトマトは売ってるの?」「わー、帰りに買っていくよ」と大好評をいただきお求めいただきました。

そして次にイチゴのハウス。「今年のイチゴはとっても甘いんです」と岡田社長。種類は「あきひめ」「紅ほっぺ」などです。ここで試食タイム。味わい深い甘さ、とつてもジュシーさに大感激!。大きく元氣

長野市北部、北信五岳*を見渡せる広大な畑の真ん中に7棟のビニールハウス群が出現。ここがミールケアが契約している「みーる農園」のひとつに、長野ベリーファーム様があります。トマトといえば「夏」ですが、ここでは一年中トマトが育っています。

イチゴとトマトのハウス合計で2200㎡のビニールハウスの中は、温度が常に10℃以上に調整されており、昼間は初夏のようにぽかぽか陽気で、うっすら汗ばんでくるほどの暖かさです。

種類は果物のように甘い「フルーツトマト」、プチトマトより小さくてかわいい「マイクロトマト」としても甘い土地で大評判です。

*北信五岳とは、飯縄、戸隠、妙高、黒姫、斑尾の山々



笑顔の素敵なお岡田社長



朝から、トマトをひとつひとつ丁寧に収穫します。スタッフの北沢さん

なイチゴに育っていました。

寒い冬の長野で、私たちのために美味しいトマトやイチゴを作っていたいただいています。その温厚な人柄とやさしいまなざしで、トマトやイチゴを見守り続け、手塩にかけて育てた安心・安全な野菜は、私たちに幸せな気持ちにさせてくれます。

今後は、ママのデザートにも登場します。現在、老人施設様・幼稚園・保育園様等の受託施設でも、このおいしいトマトを提供させていただきます。



● 「真っ赤なイチゴとトマトを食べて、ミールケアの子どもたちに美味しいと言ってもらえるのが最大の喜びです。」と、岡田社長の頑張りのおかげです。

これからの、おいしいトマト、イチゴをお願いいたします。

(記・田子美津子)

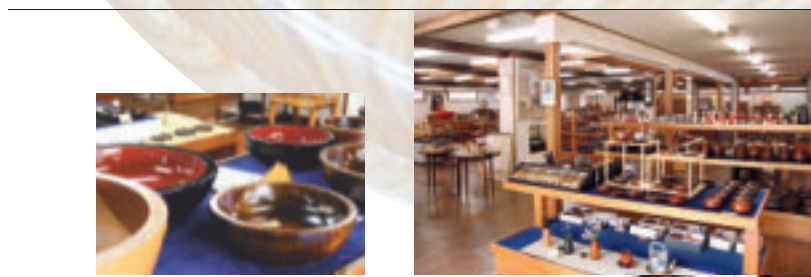


みーるマ〜マが使用しているお料理の取り皿は、みーるマ〜マがオープンした際のものでも大切に使い続けています。当時、本物の安心・安全なお料理を提供するのなら、食器も本物でなければならぬと考え、やっと探したのが長野県妻籠宿にもほど近い、南木曾のろくろ細工でした。ろくろ細工とは、ろくろを回して木をくり抜き、丸い形に仕上げる器。それを作る職人を「木地師」と呼びます。木を知り尽くし、磨き上げられた木地師の手によって生み出される器は、木目をそのまま生かし、自然の美しさと素材感が調和した芸

術的な職人技のまことに作品ともいえます。早速、木曾の老舗ヤマイチの小椋社長に制作をお願いすることにし、特注サイズのオリジナルの取り皿をオープンに間に合わせていただきました。そして、早7年。今でも大切に使い続けさせていただいておりますが、どんなに素材でも、たくさんのお客様に何度もお使いいただいているうちにキズなどのいたみが出てきます。そんな時、私たちはその都度、小椋社長に修理をお願いすることになっています。今回は2度目のメンテナンスとなりますが、いいもの、本物は修理さえすれば何度でも使えます。そして何よりも愛着のある使いやすいものになって帰ってきます。これから



も使える限り、大切に使い続けていきたいと思えます。そして、私たちみーるマ〜マのスタッフとお客さまとの間も、そんな確かな本物の信頼関係で、あり続けたいと思います。(記・丸山章)



ヤマイチさんの店頭には、皿や椀、しゃれた小物入れや伝統的な家財道具など数多くの商品が並んでいます。

木地師の里、ヤマイチろくろ細工の代表取締役、小椋一男さん



南木曾ろくろ細工
木地師の里 ヤマイチ
長野県木曾郡南木曾町吾妻4689-239
TEL.0264-58-2041 FAX.0264-58-2665

みーるマ〜マの取り皿が、木曾の匠の手によって蘇りました。

放射性ヨウ素	飲料水・牛乳・乳製品・野菜類	60Bq/kg 400Bq/kg
放射性セシウム	牛乳・乳製品 野菜類・穀類・肉・卵・魚・その他	40Bq/kg 100Bq/kg

日本の基準の1/5の数値がミールケア基準なんだね

〈基準〉
厚生労働省基準(平成23年12月発表)とチェルノブイリ基準を参考にし、セシウムとヨウ素を検出しています。日本1/5の数値が基準です。(現在、検出されていません。)

どうやって測定するのか、見てみよう!



あらかじめ検査用の野菜をカットします。



フードプロセッサでペースト状にすりつぶします。



指定の容器に入れ測定器の中へ



15分間の測定後結果がパソコンに送られます。



幼稚園や保育園で結果が見れるんだね。

品名	単位	ヨウ素	セシウム	基準値
ほうれん草	1kg	10	10	400
ブロッコリー	1kg	10	10	400
ピーマン	1kg	10	10	400
ピーチ	1kg	10	10	400
ピーマン	1kg	10	10	400
ピーチ	1kg	10	10	400
ピーマン	1kg	10	10	400
ピーチ	1kg	10	10	400
ピーマン	1kg	10	10	400
ピーチ	1kg	10	10	400

11月29日待ちに待った放射能測定システムが納品されました。総重量160kgのシステムは5人がかりで本社の検査室に搬入されました。「日本の未来を託す子供たちに、安全な食事を届けたい!」これで放射能に対する安全性の裏付けが取れたお食事を胸張って提供できるようになりました。高性能なシステムにより、放射性ヨウ素、放射性セシウムの計測結果を具体的な数値でお知らせできます。

当日早速、野菜納入業者からサンプル野菜が納品され、計測を開始しました。検査のためには野菜など検査する食品の種類ごとに1kg必要です。この検査システムでは、野菜だけでなく、肉や魚も当然ながら、牛乳や水など液体から畑の土までも計ることが出来ます。会社の畑の土も計ってみました。放射能は検出されませんでした。

一般の方々への放射能測定もいたします。先日、早速一般の方から持ち込まれた野菜を測定いたしました。さつまい、お米、おもちの3点、測定した結果は不検出でした。初の一般の方の測定で少し緊張しましたがこのように測定するんですね。安心しました。とのうれしい言葉。今後もご要望に応じて承ります。未来ある子供たちへ、私たちは率先して安心・安全な食事、食材を提供していきたいと思えます。(記・橋詰豊)

検査結果は、幼稚園・保育園、みーるマ〜マへ毎日送っています。



日本の「給食道」を守りたい! より安全のために:放射能測定器、本社に設置。基準値は厚生労働省、全国でもハイレベル。



2012年1月29日、長野市民文化ホールでみえる劇団の長野公演を開催。600人のお客様を迎えるの初ステージでした。

福島県陸前高田市と 東京公演、開催決定！



皆様の温かいご支援のお蔭で、
長野初公演、満員御礼となりました。
本当にありがとうございます。

そして、福島公演、さらに関東での食育公演の
開催が決定しました。

これからもっともつと劇に磨きをかけ、
世界中の子どもたちに喜んでいただける劇団として、
ミールケアの「給食道」を創って参ります。
今後ともよろしくお願ひします。

みえる劇団団長 田子美津子



年頭の思い

「感謝の心は姿勢に表れる」

食べ物に感謝をする心は、美しい食文化をつくります。

日本人は、質素なもので手間をかけた、工夫凝らしたりして美味しく、無駄なく食べてきました。食事をつくる人は、食材に感謝をし、大根の葉っぱも、魚のアラも、絶対に無駄にせず、心を込め料理をして来ました。日本人は、心に宿すことが出来る民族なのだと思ひます。

● 食事は、「作法」と「道」があります。作法というのは「行儀」で、練習すれば何とかなります。練習には改まるものではありません。また、「一膳の箸は道具にあらず」とよく親から教えられました。箸使いの作法は、食べ物を大切にする心の基本です。それは、ただ単に箸という道具を上手に操れば良いというものではありません。

● 一膳の食事は、食べ物と人と心とを結び懸け橋です。そして、作法に則った箸使いは、日本の食文化が持つ美意識を具現化するものと思ひます。

● これに対して、「道」というのは、「教え」と「学び」によって物事への理解を深め、自分自身で考えて行動する能力を高めることと言えます。日本には、茶道・華道・書道・酒道・香道・柔道・剣道・弓道など、「道」で表される伝統文化が数々あります。そうであれば、「道」の精神も「食」を通じて養なう事も出来るはずだと強く思ひます。

私たちの日々の仕事、給食づくりも、作法のように、



「給食を通してご利用者様に、いかにその食事を美味しく、召し上がっていただくか。」ただそのことだけのために、ひたすら心を込めて、つくり続ける仕事であると考えます。これこそ、茶道と共に発達した食の文化と言えます。「一期一会」のお食事を全身全霊つくり、おもてなしするのがミールケアの「給食道」です。

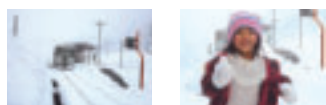
● また、日本には「朝はその日の難逃れ」という言葉があります。朝起きた後で、お茶を飲む習慣は体にいいだけでなく、心にゆとりを生むひとときでもあります。今日一日、何をしなければならぬか、大事な約束を忘れてはいないか、そういったことを気持ちの中でゆっくり整理しておけば、一日を難なく過ごすことができるものと思ひます。

● 心にゆとりを持つということは、一朝一夕に叶うことではありませんが、日々の生活習慣に大きく影響されると思ひます。そんな感謝の思いを込めて、「ミールケアの給食道」を後世に伝えて行くのが、私たちの使命と思ひます。

株式会社ミールケア
代表取締役 関幸博

感謝

【表紙写真】JR東日本：長野県最北端の駅「森宮野原駅」
長野駅から越後川口を結ぶJR「飯山線」の森宮野原駅。昨年の震災で被害のあった下水内郡栄村の駅です。ここは日本でも有名な豪雪地帯で過去最高は昭和20年に7m85cm。ラッセル車が出動しても時には列車が運休したりすることもあります。
(写真：関りえるちゃん4歳)



株式会社ミールケア

本社 〒380-0921 長野市栗田8-1
TEL.026-269-8800 FAX.026-269-8813
東京オフィス 〒103-0028 東京都中央区八重洲1-5-15 田中八重洲ビル6F
TEL.03-3516-1121 FAX.03-3516-1180

経営理念：「嬉しさを実感できる会社を創ります」

事業内容/幼稚園・保育園・KIDS MEAL/医療福祉・事業所等のMEDCA MEAL/自然食レストラン Meal Ma-Ma

● 事業内容に関するお問い合わせは、フリーダイヤル0120-206-121 (お客さま担当：田子・丸山)